

**8月1日**  
歩行者天国と音楽イベントで地域おこし  
若者が企画したサマージャック弟子屈

多くの人でにぎわった会場



サマージャック弟子屈(同実行委員会主催)が8月1日、中央通商店街で開催されました。

まちのにぎわいを取り戻したいと、上村剛志実行委員長をはじめとした町内の30代有志が企画したもので、20数年ぶりに歩行者天国が復活。さまざまな出店が通りを埋めたほか、多彩なイベントや弟子屈小学校吹奏楽少年団、PLバトントワラー弟子屈教室、I&Mバトンスタジオなどの皆さんの発表が行われました。また、中央ビル内の特設ステージでは、国内の第一線で活躍するレゲエ歌手の皆さんなどの公演も行われました。

**8月1日**  
自然公園クリーンデーに合わせて美化活動  
パークボランティアらが屈斜路湖畔清掃

手分けして湖畔のごみを回収



環境省と摩周・屈斜路パークボランティア、阿寒国立公園川湯地域運営協会、自然公園財団川湯支部の職員など14人が8月1日、屈斜路湖東岸で清掃活動を行いました。

毎年8月の第1日曜日には「自然公園クリーンデー」として各地で美化清掃活動が行われており、その一環として実施したものです。回収されたごみは23袋分にもなりました。大半は空き瓶や缶、ペットボトル、発泡トレーでしたが、一人では持ちきれない大きさのじゅうたんなどもありました。参加者の皆さんは量の多さに驚きながら「ヒグマの問題もあるのでポイ捨ては絶対にやめてほしい」と話していました。

**7月18・19日**  
惜しまれながら最後の開催  
摩周多夢窯主管のゆけむり陶芸市

出店者と平出さん(左から2人目)



川湯温泉の摩周多夢窯(平出隆子窯元)が主管するゆけむり陶芸市が7月18・19の両日、跡佐登福祉の家で開催されました。

まちおこしと道内陶芸家の交流の場として毎年開催してきたもので、今回で10回目。オホーツクや根室、十勝管内などから15の窯元が集まり、それぞれ自慢の作品を展示。工芸品などの工房や地元の菓子店なども参加し、多くの陶芸ファンでにぎわいました。節目を迎えた10回目の今回が最後の開催。平出さんは「多くの皆さんの協力に感謝しています」と話していました。

**カメラスケッチ**  
広報マンが行く!!



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかかけます。お気軽にご連絡ください。



まちづくり政策課政策調整係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 3 (課直通)

**8月2日**  
親子で楽しく工作  
林業多目的センターで夏休みトンカチ広場

完成品を手に笑顔



町と町森林組合共催の木工教室「切ったたいて工作しよう～夏休みトンカチ広場」が8月2日、林業多目的センターで行われました。

建設現場で残った角材や端材などを利用して、家族でさまざまな作品を作るイベントで、今年で19回目です。

参加した小学生とその家族など14人は、普段、学校の授業以外ではなかなか手にすることの少ないのこぎりやトンカチなどを駆使して、個性的な作品を作っていました。

**8月1日～**  
阿寒国立公園の風景を写真で楽しんで  
川湯エコミュージアムセンター2階で企画展

阿寒国立公園の魅力に触れて



川湯エコミュージアムセンターの2階ギャラリーで8月1日から、写真展「トク撮てしかがVol.3～撮っておきの自然再発見!～」が開催されています。

シリーズ3回目となる今回は、地元のネイチャーガイド5人が阿寒国立公園の自然風景を収めた写真28点を展示。季節によって違う美しさを見せてくれる釧路川源流域の写真には、すぐに触れたいような感動があります。また、それぞれのガイドの視点でとらえられた瞬間は、どれも自然の豊かさを伝えてくれています。

9月29日まで行われていますので、ぜひ一度ご覧になってみませんか。

**7月22日**

思い出いっぱいの桜ヶ丘森林公園で永遠の誓い  
南弟子屈出身の佐久間さんが挙式

たくさんの祝福を受けて



福岡県在住の官井敦史さん・佐久間智子さんが7月22日、桜ヶ丘森林公園で結婚式を挙げました。

新婦の佐久間さんは南弟子屈出身で、現在はウェディングプランナーをしています。子どものころ遠足などで訪れた桜ヶ丘森林公園で挙式したいと、自ら企画。同僚の皆さんの協力の下、思い出の場所での挙式が実現しました。

式には、友人や地域の皆さんなど約50人が出席。幸せいっぱいの門出を祝福しました。

**7月21日～8月31日**

夏休みの思い出づくりのお手伝い  
川湯EMCで夏休み企画と夜間開館

星座早見盤作り真剣



川湯エコミュージアムセンターで7月21日～8月31日、夏休み企画「コースター作り」と「星座早見盤作り」が行われ、家族連れなどでにぎわいました。

コースターは、道内産のトドマツ材に焼きゴテを使ってデザインを描いてもらうもの。お互いの絵をのぞきこむ親子や兄弟姉妹の楽しそうな姿が見られました。星座早見盤は、2枚の厚紙を切り抜き、張り合わせて完成。色を塗り分けてオリジナルの早見盤を手にする人もいました。

また、8月1日～16日は夜間開館を実施。閉館が2時間延長され、来館した皆さんはゆっくりと見学していました。

**8月12日**  
利用者の皆さんのために  
多田塗装が文化センター駐車場の区画線引き

区画線の引き直して駐車場が使いやすくなる



(株)多田塗装(多田征人代表取締役)の皆さんが8月12日、摩周観光文化センターで駐車場の区画線引きを行いました。

利用者の皆さんが気持ちよく利用できるようと、社会貢献活動の一環として行ったものです。手分けして丁寧な作業を行いました。

**8月3・7日**  
地域の役に立ちたい  
2社が社会貢献で墓地の草刈り

丁寧に作業する摩周植物園上と佐藤建設工業下



(有)摩周植物園(古瀬廣幾代表取締役)の皆さんが8月3日に川湯墓地で、7日には(株)佐藤建設工業(佐藤洋司代表取締役)の皆さんが弟子屈墓地で、それぞれ環境整備を行いました。

お盆を迎えるにあたり、お墓参りに訪れる皆さんが気持ちよく利用できるようと、社会貢献活動の一環として行ったもの。日々の道路維持作業での機動力を生かし、手際よく墓地内の草刈りを行いました。

**7月27日**

7月の好天で今年も上出来  
摩周メロン豊穰祭で収穫を祝う

収穫を祝ってメロンカット



摩周メロン生産組合(藤田重太郎組合長)の「豊穰祭」が7月27日、町農産物集出荷センターで行われました。

豊穰祭では、豊島洋樹摩周湖農協参事と佐々木啓之弟子屈郵便局課長、吉備津副町長がメロンカットを行い、摩周メロンの収穫を祝いました。

摩周メロンは同組合の8戸の農家が生産。同センターと摩周湖農協、道の駅「摩周温泉」、郵便局の「ふるさと小包」だけの取り扱いで、市場にはほとんど出回らないため、幻のメロンとも言われています。形、糖度共に例年並みの良い出来で、8月下旬まで約2万玉が出荷されました。

**7月25日**

平和の尊さを忘れない  
戦没者追悼式で誓いを新たに

献花する参列者の皆さん



弟子屈町戦没者追悼式が7月25日、町社会老人福祉センターで行われ、遺族や関係者など約60人の参列者が黙とうをささげました。

徳永町長は「戦争について語られることも少なくなり、平和の尊さが忘れられようとしている今日、戦後70年の節目に遺族の皆さまと共に追悼式を挙げることは誠に意義深い」と辞辞を述べました。その後、参列者一人一人が献花。平和への誓いを新たにしました。